発行日　2023年６月27日

学校だより　なでしこ　７月号

横浜市立岡野中学校
横浜市西区岡野２－14－1

情熱の体育祭　～感動をありがとう～

実行委員長　城田　翔

「一日でもいいから晴れてください…。体育祭をやらせてください！！」その願いが通じたのか、13日（火）は朝から雨が止んでおり、ようやく待ちに待たされた体育祭を実施することができました。3日間とも雨で体育祭が実施できないかもしれないという“絶望的な状況からの大逆転劇”でした。

今年度の体育祭は、コロナ禍で縮小してきた状況から少しずつコロナ禍以前に戻ってきた部分がありました。半日開催から一日開催に変わり、種目数も昨年度より増えました。4年ぶりの“アスレチック走”や“部活動対抗リレー”も盛り上がりました。午前最後の“色別対抗リレー”と、午後後半での“学級対抗リレー”では、出場選手一人ひとりをアナウンスで呼び、応援席からスタートラインに集まってくるという、岡野中恒例の演出には、やはり痺れました。代表選手に対する各色の応援も素晴らしかったです。体育祭の最後の種目、2，3年生全員による“野毛山ソーラン節”の迫力もさすがでした。

体育祭は成功したと、私は思っています。それは、体育祭当日の閉会式での校長の話の中にもあったように、“選手が最後まで諦めずに取り組んだ姿”や“一生懸命頑張る選手を一生懸命に応援する姿”があったからです。普段の学校生活では見えにくい、岡野中の生徒のエネルギーを肌で感じることができた一日でした。本当に感動する場面がいくつもありました。感動をありがとう。

レインボーピース

３学年主任　岡田　成人

明智光秀「大変楽しい宴であった。余は満足じゃ。わしは、これから本能寺へ向かう。
　　この子を、よろしく頼むぞ。」
生　徒　「やっぱり、チャーリーは赤のレインボーピースだったね。」

　これは、修学旅行学年レク「亀岡 NIGHT」の一場面です。
　２年生のときに行ったみなかみでの「ファイヤーフェス」で黄色学年のみんなが灯した「レインボーファイヤー」が失われてしまい、再びその炎を灯すには7つのレインボーピースを集める必要がある･･･。こうして3年生になった黄色学年の仲間たちは、様々な場面で力を発揮することで7つのかけら「レインボーピース」を手に入れることができるのです。
　修学旅行の事前学習から、一貫して修学旅行実行委員会が演じた劇の中では「赤のレインボーピース」を手に入れるために、黄色学年が「絆を胸に団結」して修学旅行を成功させよう、という気持ちがひしひしと伝わってきました。修学旅行実行委員会を中心に、2日目の夜にホテルで開催された学年レク「亀岡 NIGHT」を盛り上げようと、本当にたくさんの人が準備に時間をかけ、練習し、当日は「最高」の夜を演出してくれました。
修学旅行実行委員のみなさん、本当にお疲れさまでした。
　京都・奈良での三日間は、天候に恵まれ、良い天気の中で見学を行うことができました。平等院の「鳳凰」も青空に映え、美しく輝いていたのを覚えています。京都・奈良の魅力は、日本の伝統文化を大切に思う人たちが、大切に守り続けている寺社・仏閣・文化に触れることができるという点にあると思います。この三日間で黄色学年のみんなが、日本の伝統文化の素晴らしさを体感することができていたら、この修学旅行は成功と言えるのだと思います。

　「緑のレインボーピース」は自然教室公式キャラクターのGoo(ぐー)ly(りー)、「赤のレインボーピース」は修学旅行公式キャラクターのチャーリー、そして「紫のレインボーピース」は、宇治のシンボル「紫式部」でした。
　残りの「レインボーピース」が何なのか、そして、黄色学年のみんながどう成長していくのか、楽しみにしていてください。

自然教室　～体験活動で深まったFriendship＆Bond～

２学年主任　梶原　弘子

そうだ！根場村に行こう。5月28日（日）～30日（火）に、胸を弾ませて、山梨県の根場民宿村に行ってきました。大自然や地元の皆様とのふれあいの中で生活しました。

1日目

緑の休暇村でのPAA21。協働しなければ達成できない様々な課題に、ファシリテーターの先導のもと、挑戦しました。夜は、樹海での暗闇体験と夜行生物観察。闇の中で息を潜め、五感を研ぎ澄まし、ミッキーマウスのモデルになった「ヒメネズミ」と遭遇しました。

2日目

午前は樹海散策。樹海のでき方や動植物の植生を学びました。昼食は、小麦粉からこねた麺と地元の野菜たっぷりの「ほうとう鍋」を作りました。お腹一杯、胸一杯。その後、いやしの里でモノづくり体験。世界に一つだけの宝物ができました。夜は、体育館でのキャンドルファイヤー。副校長が扮した「ファイヤーマン」は、とてもインパクトがありました。さらに「ファイヤーチルドレン」たちが希望の灯りをともした後、暗がりの中で、お楽しみのスタンツ発表。クラスで作成した大道具や衣装、必死で書いた脚本など、まさにステージ上では、担任を巻き込んで、笑いあり感動ありの圧巻のステージが展開されました。終盤、「ジャンベリーミッキー」のダンスで盛り上がり、その躍動は体育祭につながりました。

3日目

最終日は、酪農体験。牛の乳しぼり、餌やり、ブラッシングを体験しました。生乳から自分で作ったバターはとても美味しかったです。命の尊さ、仕事のやりがいを学びました。あふれるほどの、数え切れない思い出が詰まった自然教室。私たちの胸中にはFriendship＆Bond【友情と絆】が、いつまでもいつまでも輝き続けることでしょう！

＜富士山の下でチャレンジしたPAA21＞

＜PAA21での気づきと気持ちを表したビーイング＞

＜お腹いっぱいほうとうづくり＞

＜夜のキャンドルファイヤー＞

＜食と命を考えた酪農体験＞

横浜校外学習を終えて

1学年主任　岸川　真知子

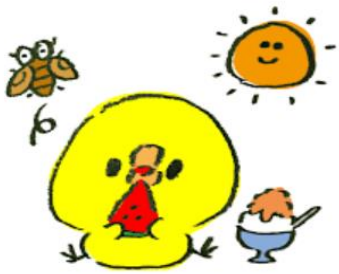
5月26日（金）、1学年は横浜校外学習を行いました。午前中は学年やクラスの交流を深めることをねらいとして、緑溢れる根岸森林公園でレクを楽しみました。最初にレク係が準備してくれたのは「猛獣狩り」でした。広い青空の下、思いっきり大きな声を出し、今まで話したことのない人と輪をつくって話しました。その後、体育祭の種目としてクラスで挑戦することになる縄跳びをしました。他のクラスを意識しながらクラスでのまとまりを感じることができました。後日談にはなりますが、体育祭ではこの時の縄跳びから数倍上達していました。そして何といってもお弁当の時間、みんなの表情が一番輝いていました。午後は班行動で関内桜木町方面を回りました。慣れた地域とはいえ、班行動では苦労もありました。自分たちで見学場所を選んで立てた行動計画を実際に回ると、道に迷ったり、時間がなくなって見学場所を削るなどしました。一部ハプニングもありましたが、何とか無事に行動を終え、盛沢山の校外学習は幕を閉じました。

生徒の振り返りを読むと、歴史のある建物を大切にしている横浜の街並みに魅力を再発見したり、博物館では墨絵を実際に見て感動したりと想像以上の学びを得たようです。また、学年やクラスの絆が深まったと答えた人が9割以上いて、いい経験になったのがわかります。一方で、事前の計画に積極的に取り組めなかった人がいたり、実際の行動の中での課題を挙げた人がいたりしました。

中学校に入学して初めての行事を、一年生はとても楽しみにしていました。横浜校外学習を終えて一ヶ月しか経っていませんが、今の青学年の様子は、校外学習前の様子とは少し違います。行事を終えるごとに一歩ずつ成長していく青学年であってほしいと思います。

～麦わら帽子と、夏休み～

7月4日（火）専門委員会　15:50～
7月5日（水）よこはま子ども会議　15:00～
7月10日（月）5組・校外学習
7月11日（火）～14日（金）三者面談　13:40～
7月19日（水）大掃除
7月20日（木）全校集会



7月21日（金）～8月27日（日）　夏季休業